

令和6年度採用 中学校 美術

教科(科目)	受験番号
美術	

- (1) 下の文章は、西洋画の画材と技法について説明したものである。文中の空欄(ア)～(オ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

(ア)を展色剤とする油絵の具が絵画の中心的な画材になったのは15世紀である。それ以前の主要な技法の一つに、卵を展色剤として用い、乾きが早く耐久性に優れている(イ)がある。もう一つの主要な技法である(ウ)は、壁面に塗った漆喰が乾燥(エ)、水で溶いた顔料を塗って描く技法である。
ルネサンス期に(オ)によって描かれた『ヴィーナスの誕生』は、(イ)で描かれている。

- ① ア 揮発性油 イ テンペラ ウ フレスコ エ してから
オ サンドロ・ボッティチェリ
- ② ア 乾性油 イ テンペラ ウ フレスコ エ しないうちに
オ サンドロ・ボッティチェリ
- ③ ア 揮発性油 イ テンペラ ウ フレスコ エ しないうちに
オ レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ④ ア 乾性油 イ フレスコ ウ テンペラ エ してから
オ サンドロ・ボッティチェリ
- ⑤ ア 揮発性油 イ フレスコ ウ テンペラ エ しないうちに
オ レオナルド・ダ・ヴィンチ

(2) シルクスクリーンについて説明した次の①～⑤の文章のうち、下線部の内容が誤っているものを一つ選べ。解答番号は12。

- ① シルクスクリーンはステンシルと同じ孔版画の一つである。
- ② 写真製版法では、感光乳剤をバケツと呼ばれる容器に入れてスクリーンに塗布する。
- ③ 写真製版法で用いる下絵は、光を透過するフィルムや紙に遮光性の高いインクで描かれたものが望ましい。
- ④ 感光後にスクリーンを水洗いすると、光が当たった部分の感光乳剤が流れ落ちる。
- ⑤ スクリーンにインクをのせて刷るときには、スキージーと呼ばれる道具を使う。

- (3) 下の作品 A～Dの作者名，4点に共通する芸術運動名と，その芸術運動に関係が深い作家名として最も適切なものを，次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし，完答のみを正解とする。

A	B
著作権保護の観点により、掲載いたしません。	
C	D
著作権保護の観点により、掲載いたしません。	

<作者名> 解答番号は13。

- | | |
|----------------|--------------|
| ① A ジョアン・ミロ | B ルネ・マグリット |
| C サルバドール・ダリ | D マン・レイ |
| ② A ジョアン・ミロ | B サルバドール・ダリ |
| C ルネ・マグリット | D マン・レイ |
| ③ A マルセル・デュシャン | B ルネ・マグリット |
| C マン・レイ | D サルバドール・ダリ |
| ④ A マルセル・デュシャン | B ジョアン・ミロ |
| C ルネ・マグリット | D サルバドール・ダリ |
| ⑤ A サルバドール・ダリ | B ルネ・マグリット |
| C ジョアン・ミロ | D マルセル・デュシャン |

<芸術運動名> 解答番号は14。

- ① ダダイズム ② 抽象主義 ③ フォーヴィズム ④ 超現実主義
⑤ キュビズム

<芸術運動に最も関係が深い作家名> 解答番号は15。

- ① アンリ・ルソー ② オディロン・ルドン ③ マックス・エルンスト
④ アンリ・マティス ⑤ ポール・セザンヌ

(4) 浮世絵版画について説明した次の①～⑤の文章のうち、下線部の内容が誤っているものを一つ選べ。解答番号は16。

- ① 雲母摺は「きらずり」と読み、雲母の粉末を絵の具に混ぜる技法である。東洲斎写楽の『三世大谷鬼次の奴江戸兵衛』の背景に用いられている。
- ② 空摺は、版木に絵の具をつけずに摺り、紙に凹凸をつける技法である。凹凸の陰影によって、線や模様を表現することができる。
- ③ 浮世絵版画は、版元、絵師、彫師、摺師による分業体制で生み出されていた。
- ④ 浮世絵版画は、江戸前期の墨摺絵に始まり、その後、墨摺絵に筆で彩色をした錦絵が制作され、さらに多色摺の丹絵が制作されるようになっていった。
- ⑤ 主版とは、絵師が描いた版下絵を版木に貼りつけて彫った墨線の版である。

- (5) 下の文章は、彫刻とその指導について説明したものである。文中の空欄（ア）～（オ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

彫刻の技法は、粘土などの材料で形を作る（ア）と、木や石を彫って作る（イ）に大別される。

水で練った土粘土（水粘土）による頭像の一般的な制作手順としては、まず木材の心棒をアングルなどで台座に固定する。次に頭部を支える木片を（ウ）でしっかりと結びつける。粘土を心棒につけていき、目や耳、口などの大まかな形を作っていく。乾燥防止のため制作を中断する場合には、（エ）などを巻きつけてビニール袋などで包んでおくように指導する。作品を保存する場合は、石膏などで（オ）を取り、それをもとにして別の素材に置き換える。

- ① ア 彫造 イ 塑造 ウ しゅろ縄 エ ぬらした布 オ 雌型
- ② ア 彫造 イ 塑造 ウ 針金 エ しゅろ縄 オ 雄型
- ③ ア 塑造 イ 彫造 ウ 針金 エ しゅろ縄 オ 雌型
- ④ ア 塑造 イ 彫造 ウ しゅろ縄 エ ぬらした布 オ 雄型
- ⑤ ア 塑造 イ 彫造 ウ しゅろ縄 エ ぬらした布 オ 雌型

- (6) 次の彫刻 A～Cそれぞれの作者名，作品名の組合せとして最も適切なものを，次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし，完答のみを正解とする。

A	B	C
著作権保護の観点により、掲載いたしません。		

<作者名>

- ア ミケランジェロ・ブオナローティ イ ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ
ウ オーギュスト・ロダン

<作品名>

- a 青銅時代 b ダヴィデ c 瀕死の奴隷

<A> 解答番号は18。

- ① アーb ② アーc ③ イーb ④ イーc ⑤ ウーa

 解答番号は19。

- ① アーa ② イーb ③ イーc ④ ウーb ⑤ ウーa

<C> 解答番号は20。

- ① アーb ② アーc ③ イーc ④ イーb ⑤ ウーa

(7) 日本の仏像彫刻について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

- ① 飛鳥時代を代表する広隆寺の弥勒菩薩半跏思惟像は、北魏様式の仏像である。
- ② 興福寺の阿修羅像と唐招提寺の鑑真和上坐像は、ともに大陸から伝えられた乾漆技法でつくられた仏像である。
- ③ 平安時代初期の仏像は、全身を一本の木から彫り出す一木造が主となる。やや暗く神秘的な表情や誇張された表現に密教の影響が見られる。
- ④ 9世紀末以降の平安時代の仏像彫刻は、頭、胴、腕などの部位に分けてつくる寄木造の技法が主となっていった。
- ⑤ 鎌倉時代の仏像彫刻では、運慶が指導的な役割を果たした。興福寺の無著立像、東大寺の金剛力士立像などが運慶の作である。

(8) 木材工芸の道具と使い方の指導について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

- ① 小刀のさやを抜くときは、さやを握った手と柄を握った手の親指どうしを合わせ、互いの親指を押し出すようにすると、安全に抜くことができる。
- ② 電動糸のこ盤の刃を交換するときは、電源のコンセントからプラグを外し、刃を上部締め具に固定してから下部締め具に固定する。
- ③ 木材をオイル仕上げで塗装する場合、オイルの染み込んだウエスは酸化重合反応によって自然発火するおそれがあるので、捨てる場合は水につけるか、ビニール袋に空気を抜いて密閉してから廃棄するようにする。
- ④ 紙やすりで木地を磨く場合は、数字（番手）の小さい紙やすりから数字（番手）の大きい紙やすりへと順次使って、滑らかにしていくようにする。
- ⑤ げんのうで釘を打つ場合は、頭の平らな面で先に打ち、最後に頭の丸い面で打ち込むようにする。

- (9) 下の文章は、陶芸における陶器と磁器の違いについて説明したものである。文中の空欄（ア）～（カ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

焼き物は土の種類や焼成方法などによって、土器・炆器・陶器・磁器などに分けられる。陶器と磁器では原料が異なる。陶器の原料は（ア）であるが、磁器の原料は（イ）である。磁器の焼成方法は（ウ）焼成であり、その焼成温度は陶器よりも（エ）。

楽焼や織部焼、志野焼などは（オ）であり、伊万里焼や有田焼、九谷焼などは（カ）である。

- ① ア 陶石 イ 土 ウ 酸化 エ 高い オ 陶器 カ 磁器
- ② ア 陶石 イ 土 ウ 還元 エ 低い オ 磁器 カ 陶器
- ③ ア 土 イ 陶石 ウ 還元 エ 高い オ 陶器 カ 磁器
- ④ ア 土 イ 陶石 ウ 酸化 エ 高い オ 磁器 カ 陶器
- ⑤ ア 土 イ 陶石 ウ 還元 エ 低い オ 陶器 カ 磁器

- (10) 19世紀後半からの工芸やデザインに大きな影響を与えた芸術運動や団体，芸術教育機関と，それを展開した人物の組合せとして最も適切なものを，次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

<芸術運動や団体，芸術教育機関>

- A デ・ステイル
- B バウハウス
- C アーツ・アンド・クラフツ運動
- D ドイツ工作連盟

<人物>

- A ウィリアム・モリス
- I ヘルマン・ムテジウス
- U ヴァルター・グロピウス
- E ヘリト・トーマス・リートフェルト

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ① | A-I | B-U | C-A | D-E |
| ② | A-I | B-E | C-A | D-U |
| ③ | A-E | B-A | C-U | D-I |
| ④ | A-E | B-U | C-A | D-I |
| ⑤ | A-U | B-E | C-I | D-A |

- (11) 下の椅子 A～C とそのデザイナーの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

A	B	C
著作権保護の観点により、掲載いたしません。		

<デザイナー>

ア ハリー・ベルトイア

イ アルヴァ・アアルト

ウ 新居猛

エ アルネ・ヤコブセン

① Aーア Bーイ Cーウ

② Aーイ Bーア Cーエ

③ Aーウ Bーエ Cーイ

④ Aーエ Bーウ Cーイ

⑤ Aーエ Bーイ Cーア

(12) ポスターカラーを使った色面構成の指導について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

- ① ポスターカラーを混色する場合には、筆などで完全に混ぜ合わせ、分量はやや多めにつくる。ムラなく色面を塗るために、水の量の加減に注意する。
- ② 筆で直線を引きたいときには、細筆とガラス棒などの溝引き棒を箸のように持ち、ガラス棒を定規の溝に当てて滑らせながら、筆で線を引く。
- ③ ポスターカラーは不透明なので塗り重ねて下地の色を塗りつぶすことができる。水溶性なので下地が完全に乾いてから行うようにする。
- ④ 白抜きにしたい箇所には、マスキングテープを貼ってからポスターカラーを塗り、ポスターカラーが完全に乾いてからマスキングテープをはがすようにする。
- ⑤ 平塗りをするときには、はじめに図柄の中の塗りやすい部分を塗り、次に輪郭線や細かい部分を塗って仕上げていくとよい。

- (13) 下の図は、PCCS（日本色研配色体系）のトーン分類図である。図中の空欄
A ~ F に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～
⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。



- ① A 彩度 B 明度 C 低い D 高い E ビビッド F ペール
② A 彩度 B 明度 C 高い D 低い E ペール F ビビッド
③ A 明度 B 彩度 C 低い D 高い E ビビッド F ペール
④ A 明度 B 彩度 C 低い D 高い E ペール F ビビッド
⑤ A 明度 B 彩度 C 高い D 低い E ペール F ビビッド

- (14) 下のイラストレーション A～C とその作者の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は28。

A	B	C
著作権保護の観点により、掲載いたしません。		

- ① A 五味太郎 B ペーター佐藤 C 中村佑介
- ② A 五味太郎 B 鈴木英人 C 中村佑介
- ③ A 和田誠 B ペーター佐藤 C 鈴木英人
- ④ A 和田誠 B 中村佑介 C 鈴木英人
- ⑤ A 五味太郎 B 中村佑介 C ペーター佐藤

- (15) 下の文章は、写真と映画技術のはじまりについて説明したものである。文中の空欄(ア)～(カ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

ピンホール現象によって得られる像を、レンズを用いてより明るい像にするカメラ・オブスクラが使われていたのは(ア)世紀頃からである。

(イ)世紀の中頃には、この像を銀メッキした銅板上に定着させる写真技術である(ウ)の特許が取得された。(イ)世紀の後半には、(エ)が連続写真の撮影技術を考案した。その後、ロール状のフィルムに連続写真を記録できるようになると、それを連続的に投射することで映画の技術が生まれる。(イ)世紀末には、トーマス・エジソンが(オ)、リュミエール兄弟が(カ)という映像の鑑賞装置を開発した。

- ① ア 15 イ 19 ウ ダゲレオタイプ
エ エドワード・マイブリッジ オ キネトスコープ
カ シネマトグラフ
- ② ア 15 イ 18 ウ ダゲレオタイプ
エ ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール オ キネトスコープ
カ シネマトグラフ
- ③ ア 14 イ 19 ウ テアトル・オブティーク
エ ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール オ キネトスコープ
カ シネマトグラフ
- ④ ア 16 イ 18 ウ テアトル・オブティーク
エ エドワード・マイブリッジ オ シネマトグラフ
カ キネトスコープ
- ⑤ ア 15 イ 19 ウ ダゲレオタイプ
エ エドワード・マイブリッジ オ シネマトグラフ
カ キネトスコープ

- (16) 下の写真 A～C とその作者の組合せとして最も適切なものと、3つの写真に共通している写真撮影上の特徴として最も適切なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし、完答のみを正解とする。

A	B
<p>著作権保護の観点により、 掲載いたしません。</p> <p>(THE EXPLOSION!)</p>	<p>著作権保護の観点により、 掲載いたしません。</p> <p>(「BLAST」シリーズより)</p>
C	
<p>著作権保護の観点により、 掲載いたしません。</p> <p>(「本日の浮遊」シリーズより)</p>	

<作者> 解答番号は30。

- | | | |
|---------------------|--------|--------|
| ① A アシュリー・ヴィンセント | B 畠山直哉 | C 川内倫子 |
| ② A アシュリー・ヴィンセント | B 畠山直哉 | C 林ナツミ |
| ③ A アンリ・カルティエ・ブレッソン | B 池田昌夫 | C 川内倫子 |
| ④ A アンリ・カルティエ・ブレッソン | B 川内倫子 | C 林ナツミ |
| ⑤ A アシュリー・ヴィンセント | B 池田昌夫 | C 畠山直哉 |

<写真撮影上の特徴> 解答番号は31。

- ① ピントの合う奥行きを小さくして背景をぼかす。
- ② ピントの合う奥行きを大きくして背景を鮮明にする。
- ③ シャッタースピードを高速に設定する。
- ④ シャッタースピードを低速に設定する。
- ⑤ 動く被写体に合わせてカメラを動かしながらシャッターを切る。

- (17) 下のアニメーション作品 A～D とその作者の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は32。

A『手』	B『霧の中のハリネズミ』
著作権保護の観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
C『木を植えた男』	D『アクメッド王子の冒険』
著作権保護の観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。

- ① A イジー・トルンカ B ユーリ・ノルシュテイン
C フレデリック・バック D ロッテ・ライニガー
- ② A イジー・トルンカ B フレデリック・バック
C ユーリ・ノルシュテイン D ロッテ・ライニガー
- ③ A ロッテ・ライニガー B ユーリ・ノルシュテイン
C フレデリック・バック D イジー・トルンカ
- ④ A ロッテ・ライニガー B フレデリック・バック
C イジー・トルンカ D ユーリ・ノルシュテイン
- ⑤ A ユーリ・ノルシュテイン B イジー・トルンカ
C ロッテ・ライニガー D フレデリック・バック

- (18) 下の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容」の一部である。文中の空欄（ a ）～（ e ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は33。

〔第2学年及び第3学年〕

1 目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、（ a ）に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の（ a ）と創造的な工夫、機能性と（ b ）との調和、美術の働きなどについて（ c ）・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) （ d ）に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を（ e ）、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

- ① a 意図 b 洗練された美しさ c 独創的 d 主体的 e 深め
- ② a 意図 b 計画された美しさ c 主体的 d 積極的 e 深め
- ③ a 目的 b 計画された美しさ c 独創的 d 主体的 e 高め
- ④ a 目的 b 洗練された美しさ c 主体的 d 主体的 e 高め
- ⑤ a 目的 b 洗練された美しさ c 独創的 d 積極的 e 深め

- (19) 下の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容 A 表現（1）」において、「ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」として示された事項である。文中の空欄（ a ）～（ d ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は34。

ア 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の（ a ）や（ b ）、（ c ）ことなどを基に主題を生み出し、（ d ）などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

- ① a 印象 b 効果 c 考えた d 全体と部分との関係
- ② a 印象 b 美しさ c 考えた d 材料の組合せ
- ③ a 特徴 b 美しさ c 想像した d 全体と部分との関係
- ④ a 特徴 b 効果 c 考えた d 単純化や省略
- ⑤ a 効果 b 印象 c 想像した d 単純化や省略

(20) 中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省)第2章 各教科 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」において示された事項として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は35。

- ① 障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。
- ② 各学年の「A表現」の指導に当たっては、主題を生み出すことから表現の確認及び完成に至る全過程を通して、生徒が夢と目標をもち、自分のよさを発見し喜びをもって自己実現を果たしていく態度の形成を図るようにすること。
- ③ 各活動において、互いのよさや個性などを認め尊重し合うようにすること。
- ④ 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、国際理解に果たす美術の役割や美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めること。
- ⑤ 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などを徹底するものとする。

kyosai-guild

kyosai-guild